

向けて

よりよい地域づくりのために

副会長 小野 利治（小野上村長）

今般、関係市町村の協力と結束により「協議会だより」が発刊される運びとなりましたことに対し、心よりお慶び申し上げます。

小野上村においても本村が誕生した明治の合併、そして昭和の合併問題とを経験してまいりました。昭和の合併時においては、あわや村が二分されるような問題に発展する苦い経験がありましたが、今回の合併に関しましては、小野上村の地区が一丸となって新しい自治体に仲間入りするとともに、合併後の新しい友人たちと一致協力し、よりよい自治体が作れますよう全力で邁進する所存でありますので、関係皆様方、住民のみなさま、よろしくお願いいたします。



副会長 阿久津貞司（子持村長）

現在は平成維新とも言われ、時代が大きく変わろうとしています。

今回の合併問題は、各市町村長にとって、推進するもいばらの道、自立するもいばらの道、苦渋の選択であります。

村としては、アンケート結果や各自治会・各種団体役員の合併懇談会などをふまえて、行財政的、少子高齢化、地方分権、国の流れ、周辺市町村の状況などを議会と十分に議論・協議を重ねた結果、渋川地区六ヶ市町村の任意合併協議会に参加することにいたしました。今後、本格的に協議がスタートしますので、村民皆様のご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

副会長 木村 榮一（北橋村長）

市町村を取り巻く環境は、人口の減少や少子高齢化及び地方分権の進展など、大きな変革期を迎えており、これらの課題を解決していくには、新たな時代に即応できる市町村づくりが求められています。

市町村合併は、新たな地域づくりのための一つ的手段ではありますが、合併を検討するには、それぞれの市町村の独自の歴史や文化、また、それぞれの市町村で暮らす方々の思いを大切にしながら、住民の視点に立った地域づくりを協議していく必要があります。

この協議会で検討された事項を住民の皆さんに提供しながら、合併の是非を含めて将来の地域づくりを検討していければと考えています。

